

# 令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立新神田小学校

## ①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	33.3	40.7	18.5	7.4	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	87.0	11.1	1.9	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	46.3	48.1	5.6	0.0	0.0
問4	英語の授業がわかる。	31.5	50.0	14.8	3.7	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	25.9	46.3	22.2	5.6	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	25.9	44.4	24.1	5.6	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	81.5	13.0	3.7	1.9	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	72.2	18.5	9.3	0.0	0.0
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	64.8	22.2	11.1	1.9	0.0
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	35.2	27.8	25.9	9.3	1.9

## ②来年度に向けての指導改善の具体策(令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より)

- ・児童が進んで話すことができるように、様々な形態で表現できる場面を増やしていく。
- ・学級担任がクラスルームイングリッシュを使用して英語に慣れさせていくとともに、児童の理解度を把握しながらスモールステップで進めていく。

## ③学校関係者評価

- ・問2「英語の勉強は大切だ」と考える児童の割合は9割以上だが、問1「英語の授業が好きだ」という肯定的な児童の割合は7割となっている。児童が興味・関心をもって取り組むことができるように、音楽やゲーム、劇、紙芝居などを利用した授業づくりをするとよい。
- ・これからのグローバル社会で生きていく児童にとって、英語はとても大切である。「覚えなさい」というのではなく、英語で会話する楽しさや大切さについても教える必要がある。
- ・英語を話さざるを得ないような場を設定し、どんどん英語で会話をさせるとよい。日本語を話すことができない外国人の方を招いて国際交流をしたり、先生方があえて英語だけしか話さない場面をつくったりするとよい。
- ・聴覚や視覚に訴えるようなコンテンツを活用した授業を行うことも児童の理解の助けになると思う。